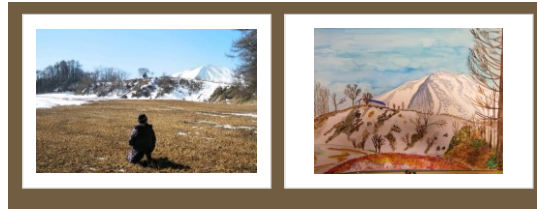




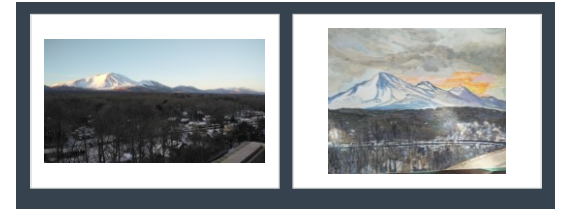
1

「描きたい」という動機・感動がある



2

要観察・集中力が求められる



3



4



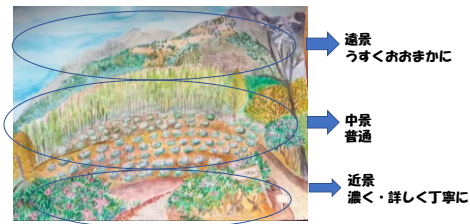
5

遠景・中景・近景の構図



6

遠景・中景・近景の明度



7

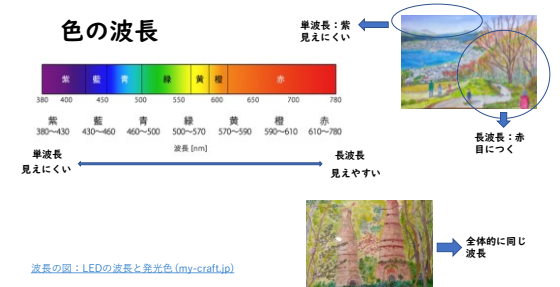


新年を迎えて 2020年1月6日 | NITI データ経営研究所 (niti-data-strategy.com)

色のコントラスト

8

色の波長



9



主役を決める

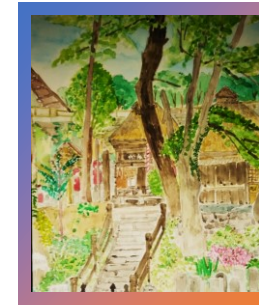
10



人々の力強さを描く 災害復興工事

- ・台風の以外で吾妻川が氾濫し、大打撃を受けた。
- ・工事現場に復興の力強さを感じて、スケッチ2時間、仕上げ2時間 (途中なんども投げ出しそうになる)

11

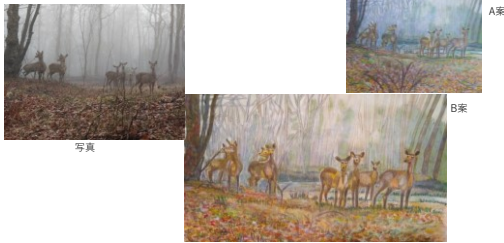


人々の暮らしを描く

- ・群馬県榛原村鎌原集落は、天明3年の浅間山大噴火により消滅したが、復興を待ち、観音堂を大切に老人たちが守っている
- ⇒スケッチから人々の生き方を感じながら想像して描く

12

生き物との相互作用の世界を描く



13

日曜美術館 NHK Eテレ 2022年5月8日放送から 内田メモ

- ・「古い時代の絵画は約束事を理解しなければいけない」
- ・「近代の風俗画は教訓的な意味をもつ」
- ・「絵の見方は自由、文化を知る、相互の世界を知る」
- ・「絵はイメージが多義性になる」

(乗六、三浦先生)

- ・「枠の中でどれだけ自分を出せるか」
- ・「ポーズングが重要」

(漫画家、青木氏)

- ・「(一筆の線は)自分の思い通りにいかない、いい気になさないと絶望にはさせない」

(書道家・篠田桃紅)

14

医学・看護・ケアでのスケッチの意義

- ・医学では細胞や解剖の臓器等をスケッチさせる実習がある
- ・看護でも褥瘡などをスケッチする研究技法が登場している
- ・高齢者・認知症の方への注意書きポスターにも活用

ガス・火 要注意!

へるひーさん	
月・水・金	9:00-10:00
火・木	15:00-18:00
土	14:00-15:00
本館日の午後は団体貸し出しのみです	

小池彩乃・内田陽子作成

15

認知症ケアにいかすアート入門・まとめ

- ・対象・現象を捉える方法として絵画・スケッチがある
- ・対象・現象への魅力が動機となり、大変集中力を要する作業
- ⇒認知症の人に興味をもち、要観察、それを映像化する (情報アセスメント)
- ・主役を決める・脇役との相互作用を考える
- ⇒主役は認知症の人、周囲の環境も考える
- ・平面の世界を立体的にみえるための工夫 (色コントラスト、明度)
- ⇒認知症の人は空間認識が困難などときがある。
- ・看護・ケアはサイエンスをめざすが、アートでもある

16

認知症になっても人と楽しく交流できる社会をめざそう



17